

世界自動車博物館会議 2024 実施に向けた進捗報告

標記の件、昨年末に実行委員会を立ち上げ、鋭意進めておりますが、進捗につき下記の通り報告いたします。

記

1. 会議概要

(1) 日時・場所

2024年10月29日(火)～11月1日(金)

於) 愛知県長久手市 トヨタ博物館、静岡県小山町 富士モータースポーツミュージアム

(2) 参加者 … 約130名を想定

①欧米アジア各国主要博物館：50名 ②国内自動車メーカー、2輪メーカー：40名

③国内主要博物館、マスコミ関係者：20名 ④海外からの同伴者：20名

(3) 予算

40百万円

(4) 会費 早割り料金：61,600円 通常料金：77,000円 (2024年2月末から募集)

(5) 体制

全国科学博物館協議会様傘下に実行委員会を設置して運営 (昨年12月より隔月開催)

(実行委員会メンバー：日本自動車工業会会員企業14社、全国科学博物館協議会加盟館3館
/国立科学博物館、名古屋市科学館、トヨタ産業技術記念館)

(6) 今大会のメインテーマ

温故知新/Hindsight Insight Evolution

過去を学び (Hindsight)、知見を深め (insight)、今後につなげていく (evolution)

2. 各セッションで取り上げるテーマ

(1) 前提 … 議論が求められている要素

①Culture and Heritage ②New trend and Digitization ③Community ④Mobility and Future

(2) 具体的なテーマ

Session	テーマ案	スピーカー (案)	ファシリテータ
1	基調講演：何故、日本で自動車産業が栄えたのか	調整中	川崎重工様
2	海外での日本の旧車人気とは	調整中 (海外)	SUBARU 様
3	デジタルの活用例、リアルとの使い分け	いすゞ自動車様※	三菱自動車様
4	博物館運営のくふう・悩み	本田技研工業様※	スズキ自動車様
5	日本の自動車メーカーへのレガシー活動	日産様、マツダ様	ヤマハ発動機様
6	クルマが文化になりえた背景	調整中 (海外)	ダイハツ工業様
7	アジアにおける自動車文化形成と自動車博物館の役割	調整中 (海外)	三菱ふそう様
8	100年前の大変革考察と未来へのメッセージ	調整中	日野自動車様

※ 海外スピーカーもあり

3. 当面の課題

(1) 具体的テーマの骨子確定 … 4月

(2) 参加人員の捕捉 … 4月